

令和6年2月22日

奈良県知事 山下 真 殿

運転免許センター等移転先決定に関する要望書

要望者 橿原市長 亀田 忠彦

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本年1月15日に、知事が「運転免許センターの移転」について記者発表されました。橿原市にある運転免許センターは、長年、橿原市民だけでなく多くの県民の方々に利用され、慕われてきた施設であります。施設の老朽化、施設の分散など課題が顕在化してきたことから、免許センターの在り方を含め、関連施設全体の総合的な見直しを検討するとして令和4年度から「運転免許センター及び関連施設等整備基本構想策定」を進められましたが、本市としましても、運転免許センターが現地建替えではなく移転となった場合も橿原市内に残って頂けるように事業手法やスケジュール等の提案を行うなど、奈良県警と本市で協議・検討を行ってまいりました。協議の中では、現在、本市内で建設が進む県立医科大学新キャンパス西側の約10haの土地が候補地の一つとして検討が進められ、令和5年3月には、当該地が第一候補地に選定されたと奈良県警より説明を受けました。

しかしながら、令和5年4月以降は協議をすることも無くなり、令和5年11月頃に、橿原市内の移転候補地が選定対象外になったとの連絡があったものの、橿原市内から他市町村に移転するのかどうかについて、何度確認しても教えてもらうことさえできず、記者会見日の3日前にあたる令和6年1月12日になって初めて知らされる結果となりました。

また、「県立橿原文化会館」についても令和6年1月4日にありました橿原公苑アリーナ建設に係る発表において、当該アリーナ建設にあわせ一方的に閉鎖すると示されました。これらの内容は中和南和地域の振興及び住民を軽んじた結論であると言わざるを得ず到底容認できるものではなく、憤りを感じ、本市として強く反対するものです。

これまでの経過を踏まえること無く、また、地元自治体との協議や説明も無く、更に、地元市民をはじめ県民に対して検討プロセスなど一切の情報を出すことなく検討を進め、一方的に移転の方針を正式表明された、山下知事のすすめ方は、納得できるものではなく、今回の発表に強く抗議し、撤回と丁寧な協議を求めます。

敬具